NIE実践報告

1．タイトル：☆戦争体験から学ぼう

2．学校名

北海道札幌市立平岡公園小学校

3．実践者名（代表者名）

首藤功二

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　32人

6．単元（本時の学習課題）名

戦争から平和の歩みを見直そう

7．目標(狙い)

「戦後60年」北海道在住の戦争体験者の記事から、戦争当時の国民生活の様子について調べ、戦争と国民生活の関わりについて理解することができる。

8．評価の視点

戦時中の国民生活んも様子を新聞記事からつかみ、戦争と国民生活の関わりを見つけることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

戦争体験者から学ぼう　1時間
戦争と人々の暮らし　6時間　　計7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞記事を読み、戦争当時の国民生活の様子を知る。（1時間）
②日華事変、第二次世界大戦の歴史的事実を学ぶ。（4時間）
③「戦後60年」の特集記事を読み、日本全国に広がる戦争の様子について調べる。（2時間）

（留意点）
・戦争当時の様子を想起させるには、新聞、教科書だけでなく、テレビ番組の特集などを使うと効果的である。
・教科書や資料集ばかりでなく、インターネットなどを使い、子どもが興味を持ったことを調べさせる時間を保障する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

児童の祖父母も戦争体験者として記憶している方が少なく、子供たちも戦争中のイメージを持ちにくかった。しかし、新聞記事から読み取る体験者の言葉は、子供たちにも戦争当時を知るうえでとても有効であった。

12．成果と課題

今回は、地方紙の特集記事を取り上げた。自分の住んでいる地域も戦争被害があることを子供たちが感じることができた。戦争について史実等を学習した後にもう一度体験者の記事をじっくりと読ませることで、戦争当時の国民生活の様子を詳しく知ることができた。